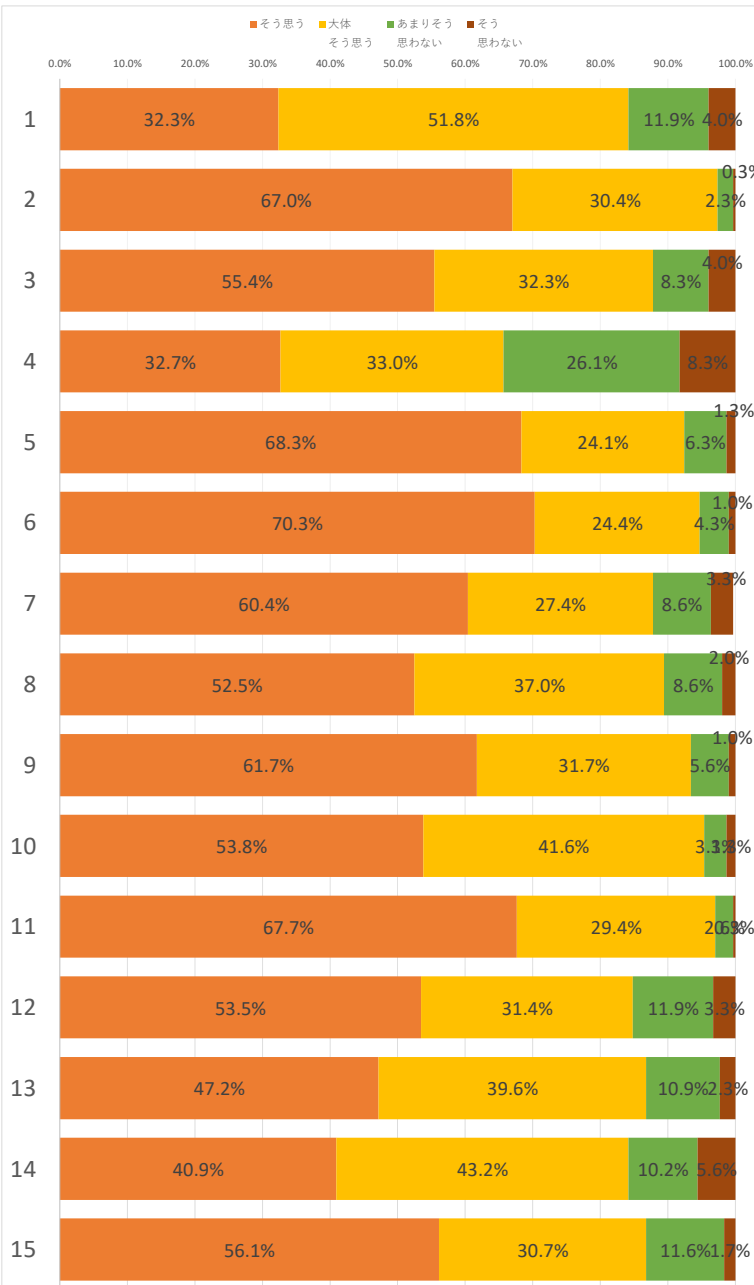


令和3年度 「よりよい学校づくりアンケート」 学校評価アンケート(児童)

回答数 310

	質問内容	回答数			
		そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	「やさしく かしく たくましく」の合い言葉を意識して生活していますか。	32.3%	51.8%	11.9%	4.0%
2	友達にいじわるやいやなことを言ったりやったりせずに仲良く生活していますか。	67.0%	30.4%	2.3%	0.3%
3	給食や朝ご飯などは、好き嫌い無く食べていますか。	55.4%	32.3%	8.3%	4.0%
4	進んで読書活動に取り組んでいますか。	32.7%	33.0%	26.1%	8.3%
5	先生は、丁寧に相談にのったり、教えてたりしていますか。	68.3%	24.1%	6.3%	1.3%
6	先生は熱心に授業に取り組んでいますか。	70.3%	24.4%	4.3%	1.0%
7	学校に楽しく通っていますか。	60.4%	27.4%	8.6%	3.3%
8	学校での勉強の内容はよくわかりますか。	52.5%	37.0%	8.6%	2.0%
9	学校行事や学習活動に進んで参加していますか。	61.7%	31.7%	5.6%	1.0%
10	困っている人に声をかけたり、助けたり、人が嫌な気持ちにならないように生活していますか。	53.8%	41.6%	3.3%	1.3%
11	地域の方々に迷惑をかけず、公共の場でマナーを守って生活していますか。	67.7%	29.4%	2.6%	0.3%
12	自分から進んで挨拶をしていますか。	53.5%	31.4%	11.9%	3.3%
13	時間を守って生活していますか。	47.2%	39.6%	10.9%	2.3%
14	正しい言葉づかいで生活していますか。	40.9%	43.2%	10.2%	5.6%
15	宿題や家庭学習に進んで取り組んでいますか。	56.1%	30.7%	11.6%	1.7%



<アンケートの結果から>

令和2年度と同様の内容で実施した。
 1の質問の湖北小の合い言葉を意識して取り組んでいる児童は、84.1%と前年の85.5%とほぼ同様である。
 2の質問の仲良く生活している児童は、97.4%と、大半の児童が問題なく学校生活を送れているようである。
 3の消極的な回答が12.3%と40名近い児童が、食に関して苦手意識があることが分かる。
 4では、読書活動に積極的に取り組んでいる児童が65.7%と昨年度の79.9%に比べ、大きく低下している。
 5の教育相談の取り組みについては、好意的な回答が92.4%と職員への対応はおおむね良い状況である。
 6の学習指導については、94.7%の児童が、好意的な回答をしている。
 7の学校に楽しく通っているかの質問には、11.9%の児童が消極的な回答をしている。
 8の学習内容の理解は、89.5%とおおむね良好だが、約10%の児童が学習に対してのつまづきがあることが分かる。
 9の学校行事・学校活動については、感染症の対策下でも93.4%の児童が積極的な回答をしている。昨年度は90.9%だった。
 10の他者への配慮や理解については、多くの児童が意識をもって取り組んでいる。
 11では、意識して生活していることがわかる。
 12の挨拶の励行については、他の回答と比較すると、15.2%と消極的な回答が多いことが分かる。昨年度の消極的な回答は、13.6%。
 13の時間を守ることにについては、多くの児童が意識して生活していることはわかるが、意識して生活できていない児童も多い。
 14 言葉遣いについても、13と同様。
 15 家庭学習については、消極的な意見が、13.3% (昨年度は、10.6%) と十分できていない児童がいることが分かる。

<成果と課題>

他者を思いやり、親切にしようと意識している児童が、多くいることは、日々の生徒指導や教育相談への取り組みが生かされていると考える。職員も校内研究や若年層の授業研究など指導力の向上に日々努めている結果、児童からの信頼も厚いことが分かった。
 読書活動については、今年度は、貸出システムのバーコード化など、図書館の利用に制限があり、十分に活動できなかった背景があるので、読書活動については、次年度有効活用できるよう努めていく。挨拶の励行や時間を守る、正しい言葉遣い、家庭学習については、消極的な意見があることを受け止め、日々の生徒指導や学校だよりや学年だよりを通じて、家庭の協力を求め、地域や家庭と連携して、それぞれの意識が高まるようになっていく。